

作成日 2024 年 6 月 3 日
(最終更新日 2024 年 6 月 3 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : c-349

課題名 : 当院における薬剤総合評価調整加算の現状とテンプレート構築

1. 研究の対象

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日に当院に入院され、薬剤総合評価調整加算を算定された方

2. 研究期間

2024 年 6 月 6 日 ~2024 年 10 月 2 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

提供開始予定日 : 2024 年 6 月 13 日

4. 研究目的

入院患者の薬剤総合評価調整加算算定状況や当院薬剤師の介入状況について調査を行い評価します。

5. 研究方法

当院の算定状況・薬剤師の介入状況を電子カルテより後ろ向きに調査します。
また算定理由は日本老年薬学会より提供されている東大方式 持参薬評価テンプレートを活用し、分類分けし介入の傾向を調べます。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

東大方式 持参薬評価テンプレートの内容 (入院時の内服数, 有害・副作用の有無, アドヒアランス, 高齢者の安全な薬物ガイドライン2015にある慎重な投与を要する薬物の副作用, 同効薬の重複投与, 腎機能低下の有無, 低栄養 (ALB<2.5), 薬物相互作用の可能性, 処方意図が不明な薬剤の服用, 一般医薬品・サプリの服用, 副作用歴, アレルギー歴, 食品との相互作用, お薬手帳の活用, かかりつけ薬局, 入院前の薬剤管理方法, 薬の理解度, 総合評価)

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

当院単独研究

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。使用する研究費はかかっておりません。外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたいうで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：京都中部総合医療センター 薬剤部 松本 智美

住所：京都府南丹市八木町八木上野 25

連絡先：0771-42-2510

当院の研究責任者：京都中部総合医療センター 薬剤部 松本 智美

研究代表者：京都中部総合医療センター 薬剤部 松本 智美

◆個人情報の開示等に関する手続

当院が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、当院の職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、当院医事課が相談窓口となります。

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合